

スイカどぶどろ

春夫くんは2年生です。理科の勉強で種から実がでる事を知りました。そこで、今年去年食べたスイカの種を家でまいてみる事にしました。

お母さんにたのんでおいたプランターに3粒ほどまいて、毎日水をやりました。少したつとその一つから愛らしい葉っぱが



顔を出して、どんどん伸びてきました。

やがて、夏の朝日の中で小さなスイカの赤ちゃんができて、みるみる大きくなり、八百屋さんで売っている物と同じくらいになりました。春夫くんは食べる前に、いつも仲よくしているおとなりの家に、スイカを見せにいきました。

おとなりさんは、スイカを見るなり、「マア、おいしそうな

スイカだこと！どうもありがとう！」と言って、喜びました。春夫君は、だまって渡すと家に帰りました。

でも、お母さんには、なんにも言いませんでした。2〜3日するとおとなりから、おいしそうなブドウが届きました。お母さんは、笑いながら春夫くんに言いました。「今年のスイカはブドウに化けちゃったね。来年また、種をまこうね。」春夫くんはニッコリうなずきました。



作…小暮 彰(箱根ヶ崎在住)
絵…小暮 慶子(箱根ヶ崎在住)

創作童話募集

- ◆瑞穂町に在住、在勤、在学の方ならどなたでも結構です。(ペンネーム可)
- ◆字数は500字程度です。
- ◆紙面の都合上、編集委員会で加筆・修正することもあります。
- ◆ご興味のある方は議会事務局までご連絡ください。

編集後記

原油高騰で、ガソリンを筆頭に食料品や光熱費までが値上がりし、生活維持に四苦八苦の日々。節約は、地球温暖化防止のためのCO₂削減に貢献するチャンスと、前向きにこの苦境を乗り越えていきたいものです。

今回の議会だよりはいかがでしたか。皆様のご意見やご感想をお聞かせください。

(下野 義子)